

11 November

# まちづくり通信



発行 飛騨高山まちづくり本舗  
住所 〒506-0845  
高山市上二之町 44-4  
電話&FAX 0577-33-5282  
hompotakayamashishouren.net  
http://www.takayamashishouren.net/d/

## 地球のステージⅡ いよいよ開演!!

懸命に生きる子どもたちのことを 身近なこととして知り  
感じとることが 今私たちにできること



映像とギターの弾き語りで贈る地球のステージ第二弾！高山出身の医師、桑山紀彦さんのライブコンサート。CD販売もあります。

11月27日(土)高山市民文化会館  
(午後1時開場)1時半～3時半 入場料500円

[協賛]飛騨高山国際協会/国際ソブチミスト高山/高山ユネスコ協会  
[協力団体]あんきや/サポートコミュニティ飛騨/ソムニード/高山子ども劇場/高山市PTA連合会/地球と暮らしを考える会/飛騨高山地球村/飛騨高山まちづくり本舗/ひだまりの会/ひだ NPO 活動センター空町倶楽部/ポパイランド/もちもちの会/楽楽地球人(アイウエオ順)

昨年大好評だった「地球のステージⅠ」の続編。紛争地域の難民キャンプなどで医療ボランティアを続けながら世界の今の姿を伝える貴重な映像の数々。「豊かさ」「幸せ」ってなんだろう。桑山さんが出会った子どもたちの瞳に会いに、おでかけ下さい。



## ゴミは山積み 課題も山積み ～台風23号から一ヶ月～

高山市快適環境づくり市民会議の呼びかけで三福寺のリサイクルセンター見学に参加してきました。屋外に分別されて置かれた災害ゴミの山が今回の災害の状況を静かに物語っていました(写真は11/10のようす)。浸水や家屋倒壊の被害の現場から多くの人たち(6日間で延べ5000人のボランティアも含む)の労力を経て運び込まれた量は2000t(畳、木屑、その他)、ちなみに昨年1年間のゴミの量は7000tだそうです。土砂8000m<sup>3</sup>で10tトラック1000台分くらい。畳は4000枚、タイヤ800本、テレビ200台、冷蔵庫200台、洗濯機200台 他エアコン、パソコン、オートバイなど。



▲8畳間なら500室分になる畳の枚数



▲泥にまみれた冷蔵庫など、使えない家電群

この山積みのゴミからうかがえるのは市民生活へもたらされた大きな打撃です。台風から一ヶ月がたちましたが、災害を経験したまち(の住民)として明日のための地域の課題は浮かびあがったでしょうか。

被災地の復旧は地道に一步一步の最中ですが、台風がもたらした非常時の恐怖や混乱をふまえ、ひとりひとりが家族で、また町内会の例会、年末年始の集まりなどで、「あのときはこうやったけど・・・、こうせにやならんな」と、話題にしていく必要がありますね。

## 台風23号 その時どうした? 何か変わった? —情報伝達の巻—

・ヒッツFMを聞いていた・ラジオをつける案もなくテレビをつけていた・川上さんのeレポートで様子がわかった・携帯がつながらない地域があり心配した・広報高山の放送は暴雨の中では聞こえない・町内会長が避難場所を準備したと家をまわってきた・避難する時間や持ち物(不要な物)の内容がわからなかった・非常持出し袋の準備はなかった・携帯の災害時サービスを試してみたが時間がかかって混乱時に活用できるかわからない・携帯ラジオを買った・カメラ付携帯は情報収集用に便利・・・など。(まちづくり本舗定例会にて)

# 幸せに暮らせる

## 地域づくりをめざして飛越が交流

笑顔にたくさん出会えるまちを願う NPO 法人あんきやの主催で、11月13日(土)高山別院庫裏ホールにて地域福祉を考える集いがありました。10月には17人が飛驒から富山のデイサービスを視察、今回は富山から19名の方が来高され集会に参加されました。

講演では、デイサービスあんきやりびんぐ開設にあたり昨年から交流をすすめていた「このゆびとーまれ(富山)」代表の惣万加代子さんが「地域に密着した小規模多機能サービス」について話されました。こども・高齢者・障がい者と縦割りにされてきた福祉行政の枠を超えた民間の取り組みである富山型デイサービスの日常をスライドで紹介されました。誰一人排除されることなく一人ひとりを包み込むその場所にはたくさんの笑顔がありました。

後半では、「にぎやか(富山)」の阪井由佳子さん、「まちの縁側育み隊(名古屋)」の延籐安弘さんらによる人と地域とのつながりのドラマが軽快に語られました。全体を通じて、一人ひとりを大切にできる地域社会のあり方のヒントが具体的に示された意義のある集いとなりました。



地元はもとより、名古屋、各務原、下呂からの参加もありました

# 心のバリアフリー 広がれ 飛驒へ

## 高山の看護師「富山型デイ」通じ交流



「あんきや」は三年前から障害者一人でも外出が難しい入居者を助ける「飛驒型デイサービス」を運営。利用者や介護者の「笑顔」に行ける場所がほしい」といふ声を受け、今年四月、高山市初の富山型デイサービス「あんきやりびんぐ」をオープンした。

「あんきや」は三年前から障害者一人でも外出が難しい入居者を助ける「飛驒型デイサービス」を運営。利用者や介護者の「笑顔」に行ける場所がほしい」といふ声を受け、今年四月、高山市初の富山型デイサービス「あんきやりびんぐ」をオープンした。

「あんきや」は三年前から障害者一人でも外出が難しい入居者を助ける「飛驒型デイサービス」を運営。利用者や介護者の「笑顔」に行ける場所がほしい」といふ声を受け、今年四月、高山市初の富山型デイサービス「あんきやりびんぐ」をオープンした。

## 互いに訪問 講演や討論も

飛驒と富山がデイサービスを通じた市民レベルの交流を伝える新聞記事 (2004.10.4 北日本新聞社提供) ※写真中央のこどもさんの肖像は編集にあたりひかえさせていただきました

### 環のくらし 更なるステップアップへ

11/26 ~快適環境づくり市民会議 推進大会~

同会議の活動や行政の取り組みの成果など、市町村合併を目前に節目となる高山市快適環境づくり市民会議推進大会が開催されます。講演はサザエさんのマスオさん役の増岡弘氏です。

日時 11月26日(金)13:30~ 入場無料(どなたでも参加できます)  
場所 高山市役所 地下市民ホール  
連絡先 高山市環境資源課 0577-35-3138

### 「こどもまちづくりINたかやま」の活動紹介も

11/28 ~ぎふ生涯学習まちづくり推進大会~

講演「市民が主役の生涯学習まちづくり」に続き、亀岡、大垣の事例発表、まちひとぷら座かんかこかん運営委員長伊藤早苗さんによる、こどもまちづくり活動(作品コンクールやまち探検など)の紹介があります。司会は子育てホットライン・ママの金山まゆみさん。

日時 11月28日(日)12:50~16:30 入場無料(どなたでも参加できます)  
場所 飛驒・世界生活文化センター飛驒芸術堂 ※パネル展示有  
連絡先 高山教育委員会生涯学習課 0577-35-3123

人類は核戦争で死滅をまぬがれるのか

### 11/27 寿歌 ほぎうた 劇団高山市民劇場公演

舞台は核戦争後の、とある関西の地方都市。あてもないゲサクとキョウコの前に現れた訳あり?風のヤスオが加わり旅を続けた。町パルタイで神の気まぐれか、はたまた偶然か…。北村想戯曲、1979年初演作品。

日時 11月27日(土)午後7時~ 28日午後1時30分~  
入場料 一般前売り1000円 中高生800円 当日200円 up  
場所 高山別院 庫裡ホール 問合せ 劇団事務局 0577-33-0315

### Information

- 収集にご協力を! まちひとぷら座かんかこかん  
子育て応援マップ作成用のアンケート用紙を、関係各所に置いていただいておりますが手にとっていただけましたか?引き続き、情報と用紙の回収にご協力をお願いします。こどもひろばにも用紙を準備しています。FAX受付は32-5282(まちづくり本舗)です。
- ユニークな企画展開 YOU&ME サロン「ばれっと」  
女性青少年会館(花里町1)で第二・四木曜日 1時半から開設されている「ばれっと」は、ばれっと倶楽部4人の皆さんを中心に多彩なメニューで企画運営されています。広報たかやまでご確認下さい。
- ボランティア募集! ひだNPO活動センター・空町倶楽部火曜サロン  
1~2ヶ月に一回程度、地域の交流の場で昼食会の手伝いができる方を募集中です。33-3238(火・水・木10時~15時)大塚さんまで